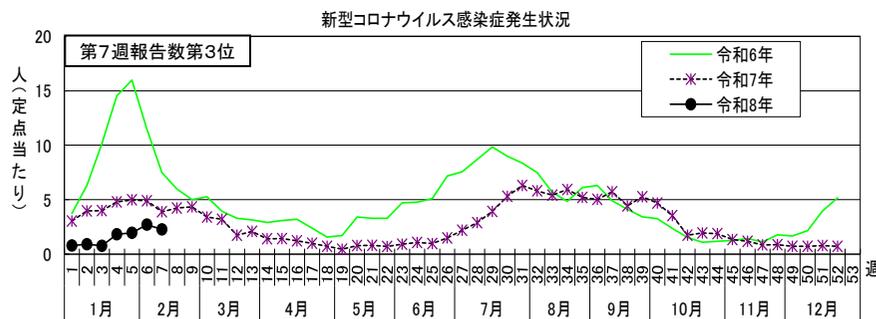
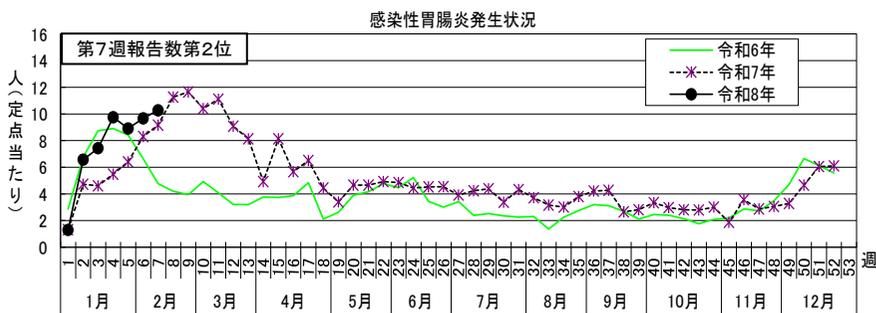
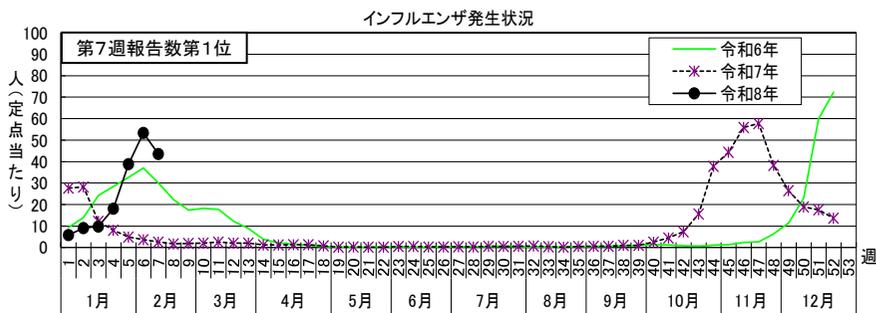


# 今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和8年2月9日（月）～令和8年2月15日（日）〔令和8年第7週〕の感染症発生状況

第7週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) インフルエンザ 2) 感染性胃腸炎 3) 新型コロナウイルス感染症でした。  
 インフルエンザの定点当たり患者報告数は43.54人と前週（53.38人）から横ばいで、例年よりかなり高いレベルで推移しています。  
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は10.27人と前週（9.68人）から横ばいで、例年よりかなり高いレベルで推移しています。  
 新型コロナウイルス感染症の定点当たり患者報告数は2.26人と前週（2.72人）から横ばいでした。

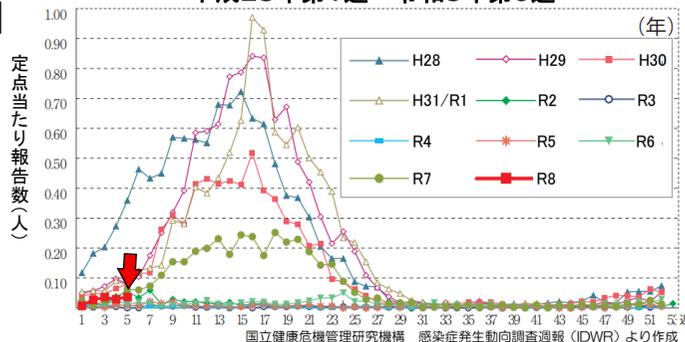


## 冬場はウイルス性の感染性胃腸炎に御注意ください！

川崎市における感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は、令和8年第7週（2月9日～15日）に10.27人となり、例年より高いレベルで推移しています。感染性胃腸炎は、通常秋から冬にかけて流行し、冬季はノロウイルスによるものが中心ですが、健康安全研究所に搬入された検体からは、アストロウイルス等もみられています。

また、令和2年以降激減していたロタウイルスによる感染性胃腸炎の報告数が、令和7年以降全国的に増加しています。ロタウイルスによる胃腸炎は1～3日の潜伏期間の後、下痢やおう吐等の症状を呈します。小児は脱水症状やけいれん、脳症等の合併症を引き起こすこともあります。重症化を予防するため、ロタウイルスワクチンの定期予防接種の対象の方は期間内に接種しましょう。

全国におけるロタウイルスによる感染性胃腸炎の発生状況  
 -平成28年第1週～令和8年第5週-



## 感染性胃腸炎の原因となる主なウイルス

病原体	潜伏期間	予防方法
ノロウイルス	1～2日	アルコール消毒が有効ではないため、排便後や調理前、食事前等は、流水と石けんで手を洗うことが大切です。
ロタウイルス	1～3日	また、食器や床等の消毒や拭き取りには、適切な濃度の塩素消毒液を使用しましょう。
アデノウイルス	8～10日	
エンテロウイルス	3～6日	
アストロウイルス	1～3日	